

布部ダムだより

2015年10月
松江県土整備事務所
【広瀬土木事業所】
布部ダム管理課
【布部ダム管理所】

10月1日から非洪水期に入りました。

日頃からダム管理にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今年の9月は残暑を感じることなく秋を迎えました。今年の冬はエルニーニョ現象がこのまま続けば暖冬との予報ですが…

布部ダムでも洪水期（6月16日～9月30日）が終了して、非洪水期（10月1日～翌年6月15日）に入っています。

非洪水期にはゲートの点検及びワイヤーロープ取替等の工事を予定しているため、11月中旬までは最低水位以下に貯水池の水位を下げています。点検及び工事が完了した後は徐々に水位を上昇させ貯水位の回復を図ります。

なお、非洪水期においても、融雪及び降雨による増水に伴う貯水位維持のために放流することもありますのでご理解ください。

今年の洪水警戒体制を振り返って …

洪水期が終了した9月30日までに洪水警戒体制を17回、その内、ゲート放流を4回行いました。（放流は6月と7月に各1回、9月に2回）

今年も、日本列島各地で記録的な豪雨が観測されました。また、台風も9月末までに4個が日本に上陸しました。

布部ダムでは幸い現時点まで大きな被害をもたらすような事象はありませんでした。

今年の洪水警戒体制中で最も多い累計雨量は136mm、流入量は28m³/s放流量は21m³/sでした。

なお、近年の傾向として、梅雨時期の6月から7月の雨量が平均雨量に比べ相当少ない値となっています。（開設以来の6月平均累計は178mm、7月は240mm）また、今年を含め、直近4年連続で8月に渇水傾向となり、農業用水の取水制限を実施しました。

布部ダムへお出かけください。（ダムカードもあります）

・春(桜)



・秋(紅葉)



トピックス

① 渇水

今年は、7月の降雨が平年比の5割程度と少なく、8月に入っても流入量が0.98m³/秒を下回る状況が続き、このまま降雨がない場合、8月末には利水容量がなくなる状況となったため、8月14日から農業用水の取水制限が実施されました。

しかし、8月17日からの降雨により、18日の9時現在で貯水量が90%に回復し、今後もさらに貯水量の回復が見込める状況となったことから、19日の9時をもって取水制限が解除となりました。

② 見学会



管理所の操作室



ダムの堤体上部より

今年は、9月末日までに松江及び安来市内の小学校4校から延べ人数で約180名の生徒さん、先生方がダムの見学に来られました。

布部ダム管理課の職員が講師となり、ダムの概要や役割等を説明し、ダム堤体天端の管理道も一緒に歩きました。

生徒さんも熱心にメモしたりなどして、いろいろな質問をしてくれました。

ダムの大きさを体感しながら、ダムの役割や水の大切さを少しでもわかってもらったのではないかと思います。

あしがき

近年、日本の各地で記録的な豪雨により、被害が多発しています。幸い、島根県では今年には大きな被害も今のところありませんが、いつどこで起こるかわからない状況です。

今後も皆様方の安心・安全のために適切・的確なダム管理に努めてまいります。



お問い合わせ先

松江県土整備事務所 広瀬土木事業所

(布部ダム管理課)

布部ダム管理所

TEL: (0854) 32 - 4153

FAX: (0854) 32 - 2825

TEL: (0854) 36 - 0050

FAX: (0854) 36 - 0051